

## 今年もおいしい西高米を栽培します！

能代西高では、減農薬にこだわり、安心・安全な米づくりを実践しています。4月18日には、生物資源系列の生徒14人が種まき作業を行いました。

作業は、「だし」を送る係、種もみを入れる係、土を入れる係、並べる係と分担されて行われ、「だし」670枚の種まきをしました。

今年は品種「あきたこまち」を2.3ha、酒米「秋田酒こまち」を0.6ha作付けし、5月下旬に田植え、9月下旬に稲刈りを予定しています。生物資源系列3年生の児玉秀弥さんは「種まきは初めての経験でしたが、みんなと協力して作業ができて楽しかったです。5月の田植えもがんばり、おいしい西高米を収穫したいです」と話してくれました。

収穫された米はJAに出荷されるほか西高祭などで一般のお客様にも販売されます。また、酒米は喜久水酒造に出荷し能代西高オリジナルの日本酒を今年も作ります。



↑指導を受け丁寧に種もみをいれます



↑協力して作業を行う生徒達



## 白神ねぎの定植

生物資源系列野菜専攻の生徒7人は、4月26日に夏ねぎの定植を行いました。毎年、農業技術センターと品種や肥料の研究を行っており、この日は8月に収穫する夏ねぎを定植しました。特産品の「白神ねぎ」の育成アドバイスを技術センターの職員から学んだあと、生徒達は「ひっぱりくん」を使って丁寧に植えていきました。

また、今年は6次産業化の一環として技術センターと共同で、生で食べても辛い「甘いねぎ」の栽培も行い、収穫後はレストラン等への販売を目指して生徒達は栽培に取り組んでいます。

